

6月22日(日) 県営熊谷ラグビー場西多目的グラウンド 決勝戦 (晴れ・グラウンド状況良好)

茗溪学園中学校 対 國學院久我山中学校 (11時キックオフ) 【water breakあり】

連覇を狙う茗溪学園と、伝統校である國學院久我山との好カードで決勝戦が行われた。前半、久我山のキックオフから試合がスタート。開始早々、両校とも激しい攻防を繰り広げる。お互いに効果的なキックと、巧みなハンドリング、堅いディフェンス、精度の高いラインアウトなど、決勝戦にふさわしい見応えのある試合となった。前半10分、ウォーターブレイクまで、息もつかせぬ攻防が続き、0対0のまま前半を折り返す。試合が動いたのは前半11分、敵陣22m付近右ラインアウトから茗溪がモールを組み、そのまま一気にインゴールまで押し込んで②番がトライ。5対0とする。追いつきたい久我山は前半18分、敵陣22m内ラックから②番が飛び込んでトライ。ゴールは失敗するも5対5とし、試合を振り出しに戻す。そのまま前半を終了する。

後半、茗溪のキックオフ。敵陣深く蹴り込むが、久我山はラインアウトから思い切って外へ展開し、キックで敵陣の奥深くまで地域を挽回すると、そのまま連続攻撃を仕掛ける。しかし、茗溪の激しいディフェンスに阻止され、なかなか得点が奪えない。すると後半7分、茗溪が反撃を開始。バックス展開から最後には⑩番が左隅にトライ。ゴールも成功して12対5とし、硬直していた試合が動き出す。取り返したい久我山は自慢の大型フォワードを生かし、ラインアウトモールで追加点を奪いに来るも、茗溪がモールを押し返しトライを許さない。すると、後半18分、茗溪が大きくバックス展開をし、相手インゴール前で⑩番がタックルを受けるも、走り込んできた⑫番につなぎ、そのままトライ。17対5とする。その直後、後半19分、茗溪⑥番がとどめのトライを奪い、ゴールも成功して24対5と勝利を決定づけた。茗溪学園は昨年度に引き続き優勝を果たし、連覇を達成した。